

「2024年世界経済フォーラム期間中に AI ハウス・ダボスを開設へ」  
(メランティクス社から発出されたプレスリリース (参考訳))

- ・ Merantix (メランティックス社)、ETH AIセンター、Swisscom、東京大学 Beyond AI 研究推進機構、ヒューレット・パッカート・エンタープライズ (HPE) が共同して主導する取り組みです。
- ・ AIが世界経済フォーラム2024の主要テーマとなる可能性が高い中、AIハウス・ダボスは研究者、産業界のリーダー、各国政府関係者、投資家、起業家が一堂に会する場となります。

**2023年9月25日 - ダボス**

メランティクス社、ETH AI センター、Swisscom、東京大学 Beyond AI 研究推進機構、ヒューレット・パッカート・エンタープライズ (HPE) は、本日、世界経済フォーラム (WEF) 年次総会 (2024年1月15~19日) の期間中に AI ハウス・ダボスを開設することを発表しました。スイス外務省が、今年のダボス会議における開催国パートナーです。

AI ハウスは、学界関係者、産業界のリーダー、市民社会、政府関係者、投資家、起業家が一堂に会する場として、すべての人々が安全に AI (Artificial Intelligence 以下 AI) にアクセスし、利用できるようにするための綿密な討議と協力の場を提供します。また、AI ハウスは、責任ある規模の拡大、統合、規制等の人工知能 (AI) 産業が直面する重要な課題に対処するため、包括的で学際的かつマルチステークホルダー・アプローチを促進するための専用プラットフォームを提供します。

2023年を通じて、AI は、世界的な規模の対話や法制度の中心的话题となることから、WEF 年次総会でも重要な議題となることは間違いありません。AI ハウスとそのパートナーは、学界、政府、産業界、金融界、市民社会、起業家の世界から最も関係の深いステークホルダーを結集させ、AI が人類と世界経済にもたらす利益について議論するためのグローバルフォーラムを提供するとともに、責任ある持続可能なイノベーションを促進する契機となります。

AI ハウスは、欧州委員会、欧州イノベーション会議、欧州 AI フォーラム、Automation Anywhere、EPFL、TÜV AI Lab を含む多様なパートナーと共に組織されるマルチステークホルダープラットフォームです。また、Forbes、Handelsblatt、Devex がメディアパートナーとして参加します。

メランティクス社・CTO 兼共同設立者、ラスマス・ローテ博士のコメント：

「AI を我々の時代を特徴づける技術として責任を持って拡張させるためには、学際的なア

プローチと、AI に関わる関係ステークホルダーが一堂に会し、どのようにそれを実現するかを議論することが必要です。これにより、AI に関わる研究者、規制当局、そして広範な市民社会の間での深い協力関係を築くことが可能になります。AI ハウス・ダボス会議は、こうした対話の基盤となり、世界規模での AI の導入、応用、統合をさらに推進するために、専門知識を結集させます。」

ETH AI センター・創設者兼エグゼクティブ・ディレクター、アレクサンダー・イリッチ博士のコメント：

「過去数か月にわたる AI のエコシステムにおける進歩は驚異的です。私たちは、インターネット以来の技術革命の目前に立っています。そのためには、AI が安全に、責任を持って、かつ目的を持って発展できるように適切な基盤を築くことが不可欠です。私たちは、スイスがこのような対話のリーダーでありたいと考えています。我々はこの試みにおいてスイス連邦工科大学チューリッヒ校、メランティックス社、Swisscom、東京大学、ヒューレット・パカード・エンタープライズ社と提携できることを大変嬉しく思います。」

スイスコム・データ、アナリティクス、AI 担当エグゼクティブ・バイス・プレジデント、ローレ・ウィレミンのコメント：

「人間をすべての AI ソリューションの中心に置くことが、ダボス AI ハウスでのあらゆる議論において最も重要な話題となります。スイスを代表する通信・IT 企業として、顧客体験を向上させ、ネットワーク・パフォーマンスを最適化し、さまざまな業界のデジタルトランスフォーメーションを推進するため、私たちは人間中心の、説明可能な、持続可能かつ安全な AI ソリューションの開発に注力しています。」

藤井輝夫・東京大学総長（Beyond AI 研究推進機構 founding director）のコメント：

「AI は、教育、科学、産業などを含む人類社会を大きく変革しています。AI 研究のさらなる発展と、より良い世界の実現にさらに寄与するため、東京大学とソフトバンクとの連携によって設立した東京大学 Beyond AI 研究推進機構は、AI 研究を推進し、新たな学術分野やビジネスを開拓するとともに、AI に関連する社会課題の解決に取り組んでいます。AI ハウス・ダボスは、G7 広島 AI プロセスに関連するトピックを含む様々な側面について、複数のステークホルダーと議論するための適したプラットフォームとなるでしょう。」

ヒューレット・パカード・エンタープライズ・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ハイパフォーマンス・コンピューティング&AI&ラボ担当ゼネラルマネージャー、ジャスティン・ホタードのコメント：

「AI は、これまでに見たことがない規模とペースで、社会のためにイノベーションを起こす驚異的な機会を提供しています。AI によって、創薬を加速化させ、気候変動を緩和し、

再生可能エネルギーの生成を最適化するなど、多くの重要な成果を可能にします。私たちはこの強力なテクノロジーを、責任を持って、持続可能かつ倫理的な方法で活用するために、協力しなければなりません。AI ハウス・ダボス会議は、官民のステークホルダーを一堂に結集させ、AI のスケールと導入を加速させ、人類を最前線に置くことを推進します、」

EPFL・マルティン・ヴェッテルリ学長のコメント：

「私たちは、社会にとって有益な生成 AI を生み出す手助けをしたいと考えています。AI ハウスでは、この分野のトップ研究者が、産業界のリーダー、NGO、政府関係者などに出会う場を提供します。私たちは、共通のビジョンを策定し、生成 AI のようなエキサイティングな技術革新が正しく使われるようにすることができます。この試みはまだ始まったばかりです。現在は、既存の様々なテクノロジーが成熟した時とよく似た状況です。私たちは新しい価値を創造し、問題を解決し、人類の幸福に貢献するのか、それとも否定的で破壊的な応用を許すのか、いずれを望むのでしょうか。」

スイス連邦外務省デジタル化担当部長、ベネディクト・ヴェクスラー大使のコメント：

「スイスは AI 研究の世界的リーダーです。近年、世界規模でガバナンス形式に関する議論が活発化しています。ジュネーブは、国際標準化機関や重要な国連機関など、幅広いエコシステムを有しており、この問題で重要な役割を果たすことができます。しかし、AI 革命を推進するハイテク企業や科学的専門知識がなければ、このような検討はほとんど非現実的です。スイスの外交が WEF の AI ハウスを重要な議論の場として活用する理由です。」

<メランティックス社について>

メランティックスは世界最大の人工知能投資のプラットフォームであり、現代の最も差し迫った問題に取り組む AI ベンチャーを創設し、投資しています。同プラットフォームは、研究開発部門である Merantix Momentum、共同開発部門であり欧州最大の AI コワーキングスペースである Merantix AI Campus、AI ベンチャー育成・投資部門であるメランティックスから構成されています。メランティックスは、トランスポーズ・プラットフォーム、W.K. ケロッグ財団、ソフトバンク、欧州の様々なファミリーオフィスなどのハイテク投資家の支援を受けており、200 人以上の従業員を擁し、あらゆる業界を跨る AI に取り組んでいます